

北竜町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

本町は、スクールバスによる路線運行だけでは、停留所までの連絡が困難な地域があるため、乗合タクシーの本格運行が検討されてきた。

実証運行ではバス輸送を含めた自宅前送迎車としていたが、本格運行では、利用人数からタクシー車両のみによる輸送とし、運行方面についても実証運行3方面を2方面へ統合した。

路線バスや住民混乗バスが走っていない公共交通空白地域を解消し、お年寄りなど通院や買い物に不便を感じている住民が中心部に気軽に外出でき、路線バスへの乗り継ぎに配慮した公共交通体系の確立が必要である。

地域公共交通の現況

中央バス(北竜滝川線)
空知中央バス(和線)
スクールバス(3路線)

生活交通確保維持改善計画の目標

乗合タクシー輸送人員

美葉牛碧水方面 620人／年

竜西和方面 1,270人／年

連絡施設間 300人／年

令和3年度事業概要

乗合タクシー

- ・美葉牛碧水方面
- ・竜西和方面
- ・連絡施設間運行

協議会開催状況

令和3年6月23日 第1回協議会開催(書面)

主な協議事項

地域内フィーダー系統確保維持計画について

令和3年11月5日 第2回協議会開催(書面)

主な協議事項

有償旅客運送の更新について

令和4年1月21日 第3回協議会開催(書面)

主な協議事項

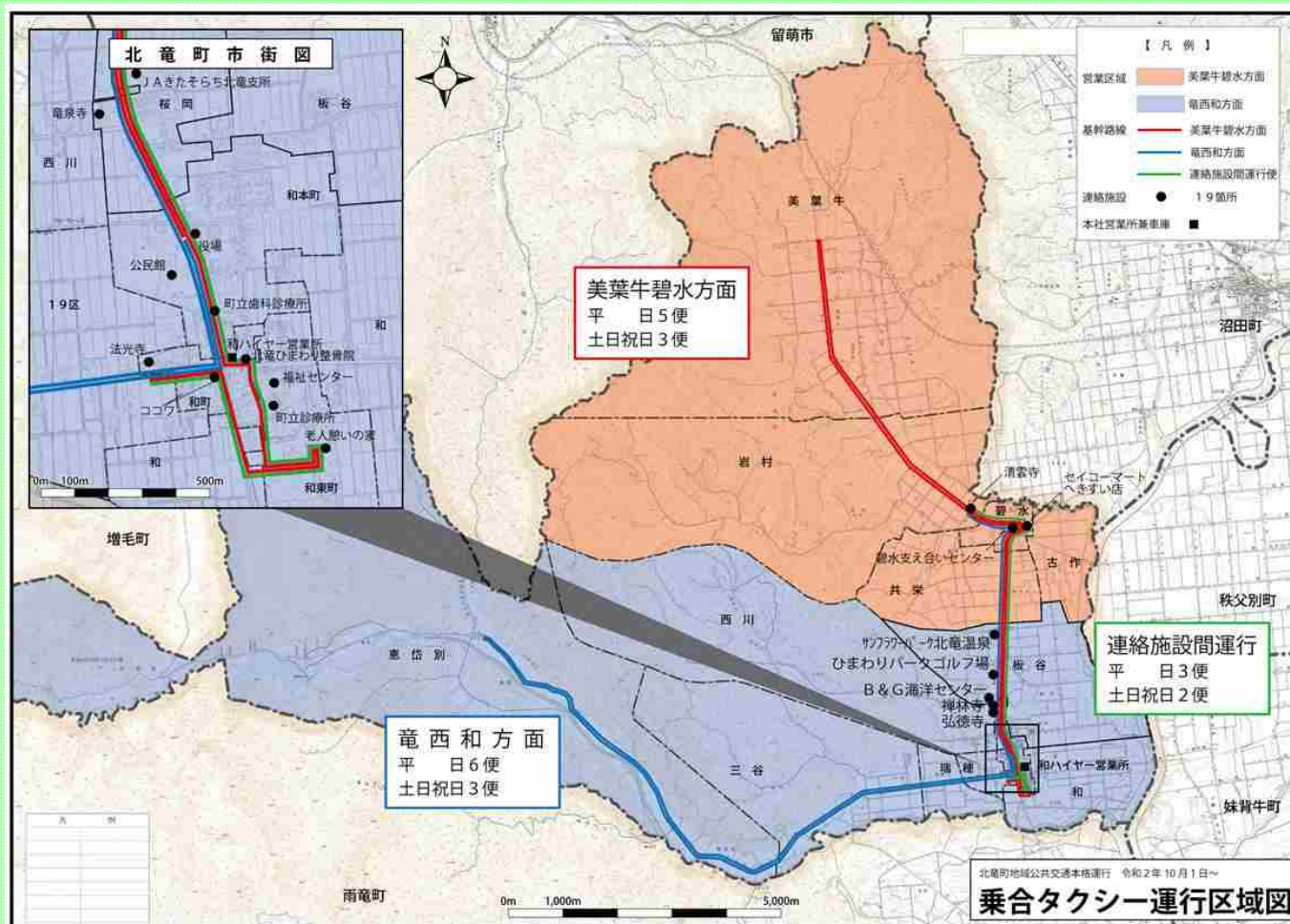
地域内フィーダー系統確保維持計画にかかる
事業評価について

令和2年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

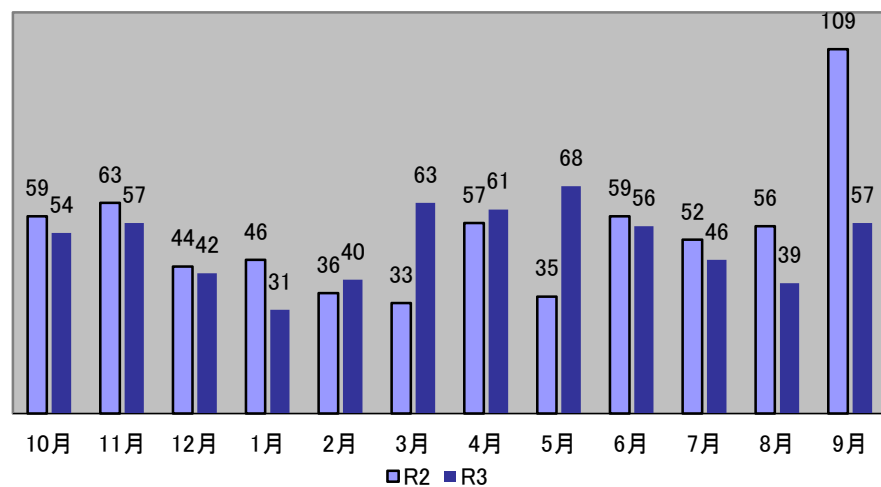
- ・簡易チラシの作成配布
- ・町広報誌掲載

2) 運行系統

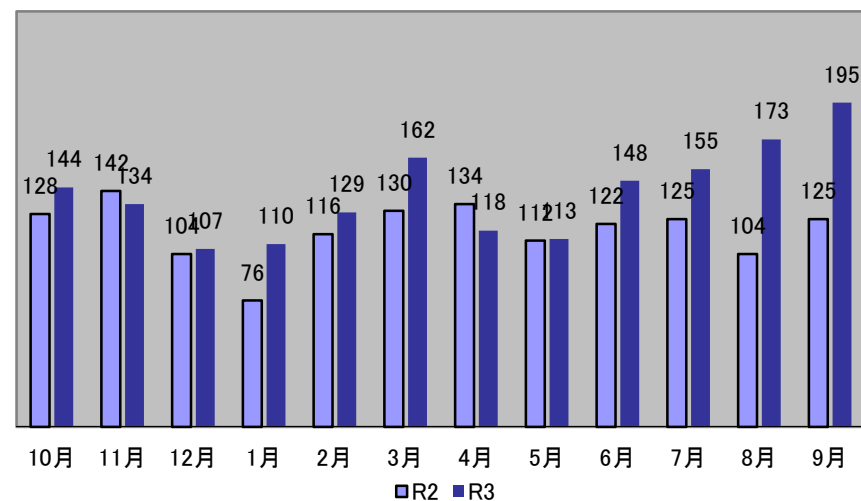


3) 利用実績

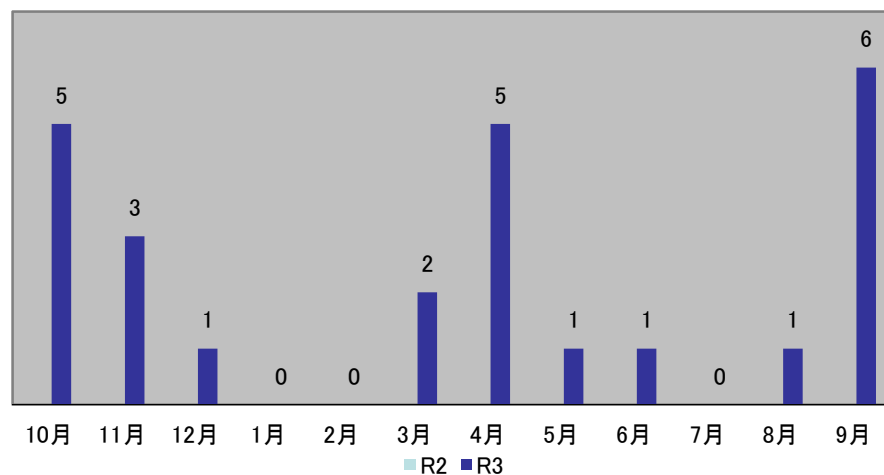
令和2～3年度利用実績(美葉牛碧水方面)



令和2～3年度利用実績(竜西和方面)

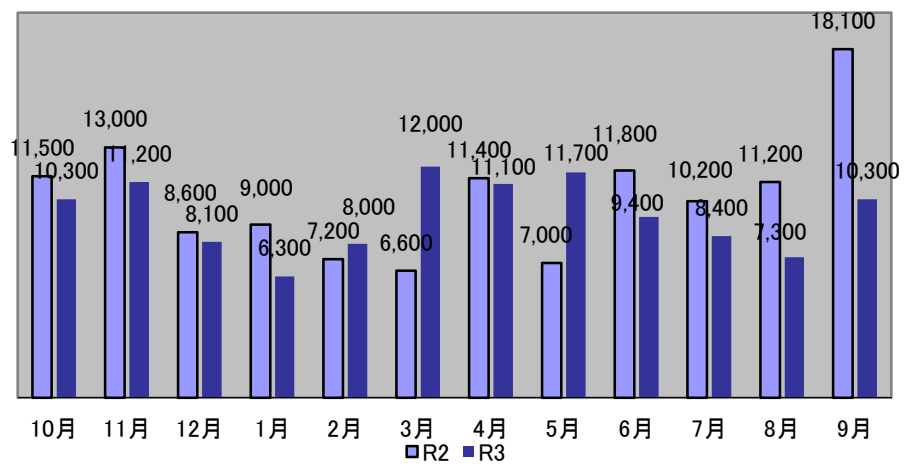


令和2～3年度利用実績(連絡施設間)

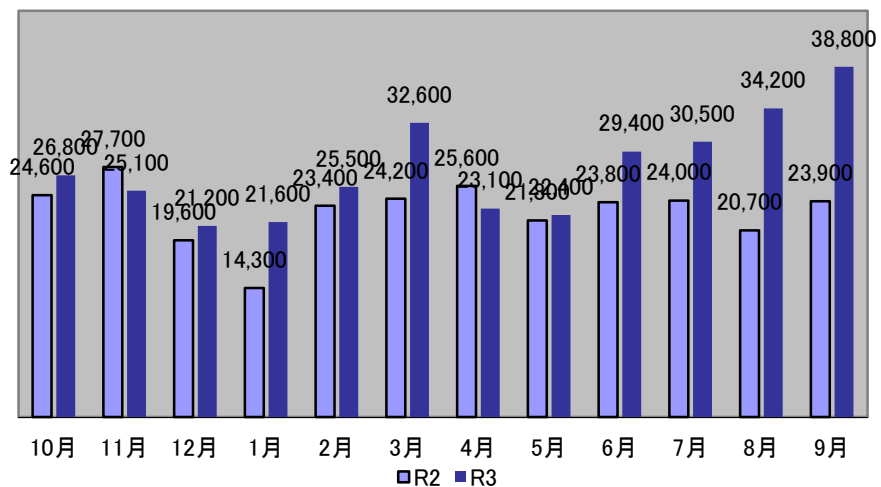


4) 収入実績

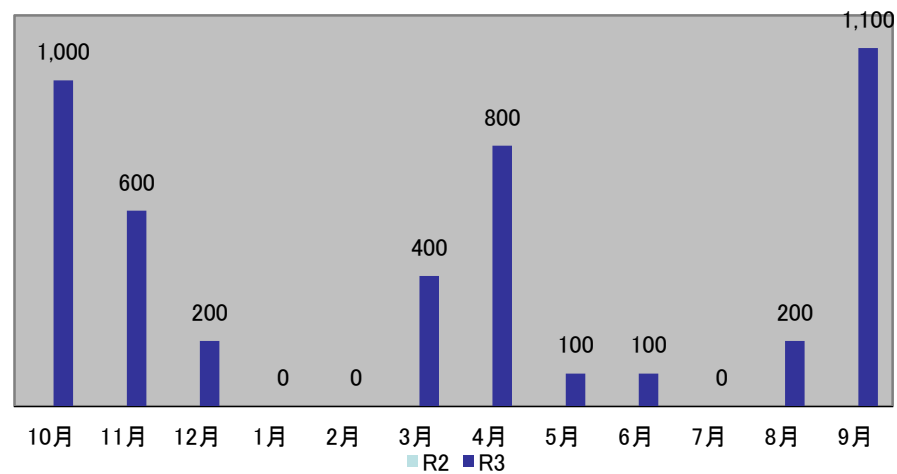
令和2～3年度収入実績(美葉牛碧水方面)



令和2～3年度収入実績(竜西和方面)



令和2～3年度収入実績(連絡施設間)



5) 事業実施の適切性

・乗合タクシー

【美葉牛碧水方面】

事業は適切に実施された。

【竜西和方面】

事業は適切に実施された。

【施設間運行】

事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

・乗合タクシー

【美葉牛碧水方面】

輸送人員目標620人／年に対し614人と区域の人口が減少したことにより目標をわずかに達成できなかった。

【竜西和方面】

輸送人員目標1,270人／年に対し1,688人と目標を達成できた。

【施設間運行】

輸送人員目標300人／年に対し25人と目標を達成できなかった。

7) 事業の今後の改善点

・乗合タクシー

【美葉牛碧水方面】

地域公共交通計画に基づき運行の見直しを行い、需要に即した運行内容へ改善を図り、新たな数値目標を設定し、これを達成できるように周知等に取り組む。

【竜西和方面】

地域公共交通計画に基づき運行の見直しを行い、需要に即した運行内容へ改善を図り、新たな数値目標を設定し、これを達成できるように周知等に取り組む。

【施設間運行】

地域公共交通計画に基づき運行の見直しを行い、需要に即した運行内容へ改善を図り、新たな数値目標を設定し、これを達成できるように周知等に取り組む。

8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響や人口減少により、目標を達成することができなかったことはやむを得ない面があるものの、連絡施設間運行便においては、このままの利用水準では補助対象外となってしまう可能性もあるため、地域公共交通計画に基づき、更なる利用促進の取組を行っていただくとともに、利用者ニーズに合わせた運行形態の検討も必要である。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。